



アーチェリーで関東大会優勝
林 享美さん(16)
関根町三丁目

世界大会での活躍が夢です

先月十一日、山梨県甲斐市で開催された、関東高校大会のアーチェリー女子個人で優勝した。

「昨年の国体終了後から今年の春まで、不調が続き良い結果が出せませんでした。この大会では、予選ラウンドからののびと競技でき、順位だけでなく実力を発揮できたことに満足しています。大学でアーチェリーをやっている兄から、電話やEメールでアドバイスを受けたことが、とても役立ちました」

現在、市立前橋の二年生。上級生が引退し、六月からアーチェリー部の部長を務めている。



「小四のとき、両親の勧めで始めましたが、高校の部活でたくさん練習するようになってか

ら、やればやるだけ上達し結果が出るのが楽しいです。平日、部活の終わった後も、家の近くにある群馬アリーナで二時間以上、矢を射っているんです。技術的なことだけではなく、精神面が大きく結果を左右する競技なので難しいですね」

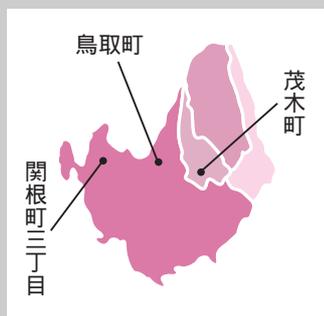
来年三月の全国選抜で優勝して、世界ジュニアの代表になることが目標だ。

「自分を信じ、無心になつて的に向かうことが大切な。女子では七十メートルが最長ですが、黄色に塗られた的の中心へ矢が真つすぐ飛んでいくのは気持ちいいです。進学を希望していますが、大学はもちろん、社会人になつてもずっと続けていきたいと思っています」

休日も練習に専念する。その成果が世界の舞台で発揮される日が待ち遠しい。

ふれあい広場

情報をお寄せください。市役所市政発信課 890-6642へ。



仲間と楽しく 生きがい作り

芳賀地区

鳥取町の芳賀公民館で、八回シリーズの高齢者教室を開催しています。地区に住む六十歳以上の人を対象に毎年実施。今年は、講義やゲームのほか、富岡市の豊前神社などを訪ねる史跡巡りも行います。

一回目となった六月二十二日のテーマは「私の生きがい」山と写真。講師が撮影した山の写



真を、解説を受けながら鑑賞し、山岳写真の面白さを学びました。参加者の一人は、「毎回違ったテーマで楽しみです。仲間もできるし、生きがいを見付けられれば」と話していました。

まちなし ニュース

ソフトボールで 健康を増進

大胡地区



六月十九日、ソフトボール大会が茂木町の足軽グラウンド・ふれあい運動公園で開催。三十回目の今年は二十一チームが参加し熱戦を展開しました。

大胡地区では、町別対抗で年五回スポーツイベントを実施。総合優勝を競いますが、この大会もその一つ。一般女子では男子顔負けのスピードボールに会場からどよめきが。みんなさわやかな汗を流していました。

地区体協会長の井上清次さんは、「スポーツを通じて、親ほくを深めてもらいたいですね」と話していました。